

# 平成24年度競輪補助事業実施完了のお知らせ



この度平成24年度の競輪の補助を受けて下記の事業を完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人JKAをはじめ、協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

## 補助事業名：障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

### 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

障害児者やその家族、関係者に対し療育に対する専門的な情報や福祉施策に関する最新の情報を提供することにより、障害者福祉の知識の向上を図り、パソコンスキルの相違などで生じる得られる情報の格差を解消するため、指導誌1回、会報2回発行した。

障害者福祉への関心と知識の向上、並びに情報格差解消に繋がるとともに、中央・地方行政の動きや各支部の活動状況等の情報を共有することで地域活動の活性化が図られると考える。

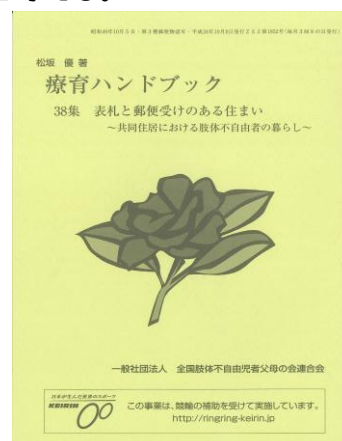
指導誌「療育ハンドブック」 平成24年8月9日発行

(B6版 56ページ)

#### 表札と郵便受けのある住まい

#### ～共同住居における肢体不自由者の暮らし～

国の施策として地域移行が進められていることを踏まえ、障害者の地域生活支援に尽力している筆者に取り組んでいる「共同住宅」における肢体不自由者の暮らしについて執筆いただいている。



会報「いずみ」

平成24年6月28日発行

(B5版 11ページ)

平成24年度通常総会報告として、事業の概要や活動方針、重点要望、障害児者の新しいスポーツレクリエーションである「ハンドアーチェリー」の紹介。行政、関係団体の動きと「障害者総合福祉法」案の概要を掲載。



会報「いずみ」

平成24年12月28日発行

(B5版 11ページ)



災害時要援護者（障害者）の災害時発生時の緊急避難やその後の生活などの支援体制調査報告。並びに、地域の先駆的な活動を掲載。

## 財団法人JKA補助事業 療育キャンプ事業の実施

保護者や肢体不自由者の高齢化にともない二次障害や障害の重度重複化の問題も顕著となってきている。専門家に直接、日々継続して行う訓練方法や負担の少ない介護の仕方、療育の方法、生活指導などを受けることにより、最新の福祉に関する情報や正しい療育の知識を習得することができるが、個人や地域の一団体ではその機会に恵まれることは難しいため、医師や学識経験者、専門指導員による訓練や指導を行った。

障害児者は、集団生活を経験し社会性の向上を図るとともに、社会的自立心を芽生えさせ、保護者は、医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育方法の習得、並びに肢体不自由児者に対する負担の少ない介護方法を習得し、地域に普及することで介護負担の軽減を図るとともに、地域活性化に繋げる。

障害当事者と家族、支援者（ボランティア）相互の交流・情報交換を図ることで啓蒙活動の一環ともなっている。

### 「キャンプ（1泊2日）」実施日程・場所

平成24年	8月18日～19日	佐賀県	佐賀県波戸岬少年自然の家
平成24年	8月25日～26日	滋賀県	琵琶湖プラザホテル
平成24年	9月28日～29日	鳥取県	大山ロイヤルホテル
平成24年	11月10日～11日	沖縄県	ユインチホテル南城





## 「キャンプ（2泊3日）」実施日程・場所

平成24年 7月14日～16日 福岡県 夜須高原福祉村やすらぎ荘  
平成24年 8月18日～20日 奈良県 椿寿荘  
平成24年 9月 1日～ 3日 宮城県 秋保グランドホテル  
平成24年 9月22日～24日 長野県 天竜下條温泉月下美人  
平成24年10月 6日～ 8日 静岡県 森林公園森の家 実施



## 財団法人JKA補助事業 地域指導者育成セミナー

障害児者のニーズの多様化、福祉施策の変革にともなう情報や知識を身につけ、障害児者が地域で普通に暮らすことができるため、地域で中心的に活動するリーダーの養成を目的として、障害者の地域移行を積極的に推進するため講師を招請し以下のテーマでセミナー開催した。

- ① どうなる障害福祉 ～障害者総合支援法を研鑽する～
- ② 障害者の住まいのあり方について
- ③ 障害者の住まいと新しい障害者福祉の施策

関心の高いテーマである日常生活に身近な「住まいのあり方」を、障害者の住まいについて精通する講師に実例や先駆的な事例を踏まえ講演いただいたことで、地域の住まいとして、グループホームなどの建設に本格的に取り組むことを決めた参加者もあり、地域移行が謳われている今、地域の住まいのあり方について研鑽を深め実践に繋がっていくと考える。

### 「地域指導者育成セミナー」実施日程・場所

平成24年	8月24日～26日	北海道	北海道立道民活動センター
平成24年10月	5日～7日	大分県	豊泉荘
平成24年10月12日～14日		青森県	青森グランドホテル
平成24年11月	2日～4日	愛媛県	メルパルクMATSUYAMA
平成24年11月16日～18日		滋賀県	休暇村近江八幡
平成24年11月23日～25日		群馬県	伊香保温泉森秋
平成24年12月14日～16日		岐阜県	高山フローラ





# 財団法人JKA補助事業 震災要援護者の支援体制調査

震災など災害発生時に自力で緊急避難が難しい障害者のため、支援体制の構築が重要であり、国もガイドラインを出しているが、実施主体である市区町村ごとの構築状況には違いがある。その違いを調査し、市区町村に早期構築を促すとともに、障害者やその家族、学校、施設、支援団体などが現状を把握する一助とするため報告書を作成し、全国の市区町村や特別支援学校、施設、関係団体などに配布した。

災害に対する危機感が高まっているが、調査結果は実施主体である市区町村の支援体制構築の遅れ、重要性認識の欠如を如実に示している。障害者も自身の避難に関し漠然とした不安はあっても地元行政の支援体制に関心をあまり示してこなかったことも一因と考える。実施体制を調査し、体験談や提言、他地域の活動を示すことにより障害者やその家族、支援者だけでなく行政にも支援体制の構築の重要性を認識いただけたと考える。しかし、認識だけでは不十分であるため、支援体制の構築を推進するためにも継続事業として2014年に再調査などを視野に入れている。

## 震災要援護者の支援体制調査

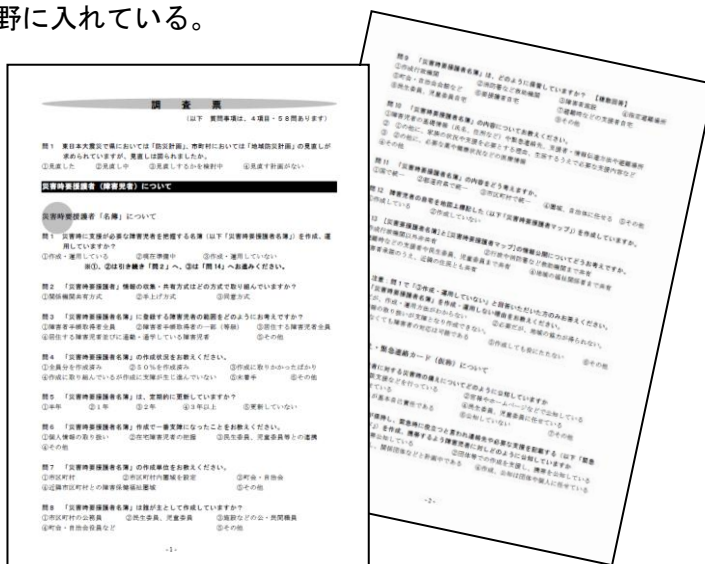
調査期間：平成24年7月2日～20日

項目：7項目 58問

全国の市区町村（政令指定都市の区も含む）1897市区町村を対象に、「震災（災害）時要援護者」の支援体制調査を実施。

報告書 平成24年9月28日発行

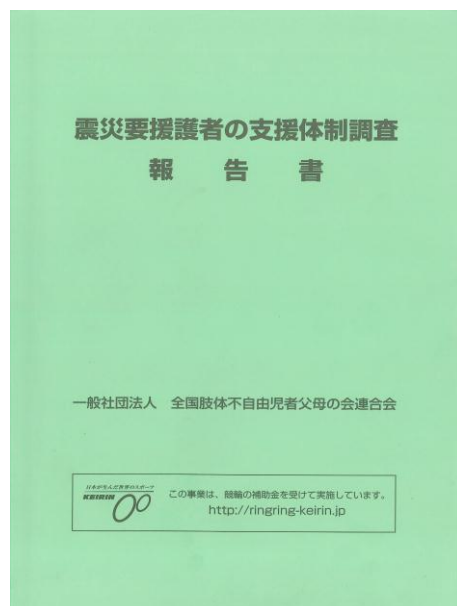
(A4版 44ページ)



全国の市区町村の「震災（災害）時要援護者」の支援体制調査結果、並びに、障害者やその家族、関係者・支援者の体験談と提言。地域の先駆的な活動を掲載した。



「震災要援護者支援体制調査委員会」



一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

この事業は、読者の補助金を受けて実施しています。  
<http://ringring-keirin.jp>